

施策評価シート

施策コード	1202	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	文化財の保存・活用	所属名 教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市は、恵まれた自然環境のもとで、長い歴史と伝統文化に支えられ、山陰地方を代表する都市として発展したまちであり、史跡鳥取城跡附太閤ヶ平、史跡青谷上寺地遺跡、史跡栃本廃寺跡など数多くの文化財が所在しています。</p> <p>○市民が親しみを持って文化財に接し、郷土の歴史と文化への理解を深めることは、市民の郷土愛や誇りを醸成するとともに、文化交流が促進され、本市の魅力や活力の創造につながります。</p> <p>○文化財とその周辺の歴史・文化を生かしたまちづくりは、市民をはじめ観光客など来訪者の魅力となり、観光や地場産業の振興、交流人口の増加などによる地域の活性化が期待されます。</p> <p>○市民一人ひとりが先人から継承した多くの貴重な文化財の重要性を認識し、地域が一体となって積極的に保護し、活用を推進しつつ後世に引き継ぐことが必要です。</p>
めざす方向	歴史と文化の薫りに満ちた活力のあるまちづくりを推進し、文化財への愛護精神の高揚を図るとともに、保護と活用により郷土の誇りである文化財を次代へ継承します。また、本市の誇り得る文化財を全国へ発信し、夢のあるふるさとづくりにつなげます。
達成するための対策・手段	<p>①文化財の保護と整備</p> <p>②文化財保護のための地域活動の推進</p> <p>③文化施設の充実</p> <p>④鳥取城跡大手登城路の復元と観光拠点化</p> <p>⑤古代米栽培・子ども考古学教室等の体験活動の推進</p> <p>⑥発掘調査・改修時等における現地説明会の開催</p> <p>⑦普段は公開していない史跡等の特別公開</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合	%	目標	0	0	68.5	0	0
				実績	0	0	62	0	0
				目標達成率			91%		
		(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)							
	2	主な文化財施設への入込数	人	目標	100000	101000	102000	103000	104000
				実績	108052	103366	110629	0	0
				目標達成率	108%	102%	108%		
		(指標の説明) 鳥取市歴史博物館、鳥取市因幡万葉歴史館、仁風閣、鳥取市あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館の入込数の合計。(基準値は平成21年度)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	447,820	428,054	445,599	0	0

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	引き続き本市の文化財保護に努め、25年度実施の市民アンケートでは「文化財の保護・活用」の満足度の平均値が29項目中10位という結果であった。鳥取城跡の保存修理等での現地説明会や史跡等の特別公開、イベント・フォーラムの実施等の情報発信の結果といえる。今後、29年度完成予定の旧美敷水源地道施設整備や30年度完成予定の鳥取城跡大手登城路整備等のプロジェクトが進行するため、集客力のある仁風閣等を含めて、これらを観光拠点に磨き上げるものとする。併せて、未指定の建造物等の調査、保護や歴史博物館等の文化施設の企画展示・体験活動等の充実を図っていくものとする。
---------------------------------------	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	本市の文化財は鳥取城跡、太閤ヶ平、青谷上寺地遺跡等、全国に誇れるものが点在している。市民に身近で大切に後世へ引き継がれるよう、文化財の歴史的背景や保護の方策について発信し保護意識の醸成を図るとともに、鳥取城跡・旧美敷水源地道施設等の整備を進め、全国へ発信すること。なお、指定文化財等については適切な管理を継続するものとし、指定候補となる重要な建造物や有形・無形の文化財等については、十分調査を行っていくこと。

7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	【重要度：23位、満足度：10位、ニーズ度：25位】 ●重要度に比べて満足度が比較的高いため、現在の取り組みに対して一定の評価があると思われる、引き続き満足度の向上を図るよう取り組みを進める必要がある。
----------------	--

事務事業評価シート

事務事業コード	000727	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(指定文化財等管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期	
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例	
施策	1202	文化財の保存・活用					
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%		
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法	直営
				0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	指定文化財等管理費			予算事業コード	01-09-04-05-02-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市など)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	・指定文化財を適正に保存・管理するため、清掃管理等を地域の住民にお願いする。 ・指定文化財を市民に広く周知し、啓発するため案内板・道標等を設置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成24年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成25年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成26年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成27年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	
	年度別実績	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,891	5,762	6,283	0	3,650	
	直接経費 A	2,142	2,049	2,640	0	3,650	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,142	2,049	2,640	0	3,650	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	文化財案内看板等設置数	単位	件	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	12	10	10	15	15					
	実績	5	6	6	0	0						
	(指標の説明) 文化財の活用を推進するため、案内看板・道標等を設置する											
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	保存整備係 20-3367
	【9次総の施策体系】	NO,1202
	【予算計上の経過】	当初予算
	【事業の概要】	鳥取市域の指定文化財を適正に管理するため、毎年草刈や清掃を行ったり文化財の案内板や道標を修繕して啓発に努めた。
	【事業の成果】	指定文化財の適正な保存管理と啓発を行った。 ◎指定文化財の草刈清掃 (鳥取地域) (国) 布勢古墳・太閤ケ平 (市) 大熊段古墳 (国府地域) (国) 梶山古墳・伊福吉部徳足比売墓跡 (河原地域) (市) 嶽古墳・(市) 武田高信の墓 (用瀬地域) (市) 東光寺山経塚参道 (佐治地域) (市) 辰巳峠の植物化石層 (青谷地域) (県) 阿古山2号墳 ◎文化財保護に関する会議への参加 ◎指定文化財標識の新設及び維持管理 案内板等の新設 赤波川おう穴群 案内板の修繕 宝木菖蒲綱引きほか 道標の修繕 茅堂ほか 清掃等管理委託 赤波川おう穴群、梶山古墳
	【今後の課題・方向性】	事業を継続して実施し、保護・保存・活用の推進を図る。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	文化財案内看板等設置数	42%	60%	60%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	指定文化財の保護、保存とともに活用、啓発活動にもつなげる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	指定文化財の維持管理はもとより、郷土の文化財へ触れる機会の提供にもつながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定文化財の維持管理が充実し、案内看板等も年次計画によって順次整備している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	来訪者への安全確保に努める。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	指定文化財の増加や案内看板等が未設置の箇所も含めて、文化財が活用され易い視点での維持管理の充実が必要。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000728	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(池田家墓所)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成16年度 ~ 平成32年度
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成24年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成25年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成26年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成27年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	
	年度別実績	藩主墓の保存整備工事に係る調査・設計・伐採業務、保存整備委員会の開催、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,200	11,297	15,704	0	16,537	
	直接経費 A	5,701	9,812	14,247	0	16,537	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,000	0	0	0	0
		一般財源	3,701	9,812	14,247	0	16,537
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	300	300	700	750	800	
			実績	500	500	800	0	0		
	(指標の説明) 池田家墓所燈籠会等、池田家墓所を活用したイベントへの来場者数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	鳥取城整備推進係 0857-20-3359
	【9次総の施策体系】	NO, 1202
	【予算計上の経過】	当初予算・P 279 (教041)
	【事業の概要】	鳥取藩主池田家墓所は、(公財) 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、日常的な管理事業及び保存修理事業を実施し、いずれも「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」に基づいて鳥取市は補助負担している。このうち、保存修理事業は、平成15年度に策定した保存整備計画に基づき、劣化の進行した個所に関する保存修理を実施中である。事業期間は、平成16年度から平成32年度までの予定。
	【事業の成果】	事業主体である(公財) 史跡鳥取藩主池田家墓所保存会に対する補助金の交付 ○藩主墓の保存整備工事等の実施 ○墓所の監視清掃、灯籠会の開催等の実施
	【今後の課題・方向性】	復元や保存修理・環境整備は平成31年度まで予定されており、今後も着実に事業を進める必要がある。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	167%	167%	114%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高めることができた。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	修復や日常的な管理を行うことで、文化財として良好な状態で保存・活用することができた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体であり、効率的に事業を実施することができた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体であり、効率的に事業を実施することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	破損個所の修復を進み、各種行事に多数の鳥取市民が来場し地域資源としての価値が確実に高まっており、今後も現状を維持した補助事業を実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000730	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(指定文化財・登録有形文化財)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	指定文化財補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-14

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	・指定文化財の所有者等が事業主体となり、文化財の保存修理・管理・公開に係る事業に対し補助金を支出し、文化財の適正な保存・管理・活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成24年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成25年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成26年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成27年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	
	年度別実績	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,621	7,165	8,908	0	5,967	
	直接経費 A	4,122	5,680	7,451	0	5,967	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	740	1,009	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,122	4,940	6,442	0	5,967	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数	件	目標	33	30	30	31	31
	(指標の説明) 指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数		実績	28	32	35	0	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)	実績		0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)	実績		0	0	0	0	0	

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO,1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 指定文化財(国・県・市・登録文化財)を後世に残していくための事業費(A)や、伝統行事・民俗芸能など、後継者育成に力を入れるための事業費(B)に対して補助した。 「文化財の保存及び保護に関する補助金等交付要綱」により補助するもの。</p> <p>【事業の成果】 指定文化財(A有形文化財・B無形民俗文化財)の保護について指導並びに補助を行い、後世に残し受け継いでいくための適正な保存管理・後継者育成等をにつなげた。</p> <p>≪事業の内容・実績(過去3年)≫ ◎指定文化財(A有形文化財・B無形民俗文化財)の管理及び公開・育成事業への補助 A(気高地域)…4件(佐治地域)…2件 (用瀬地域)…2件(河原地域)…2件 (鳥取地域)…9件(国府地域)…7件 B(気高地域)…4件(青谷地域)…1件</p> <p>補正予算分 奥田家住宅(鳥取地域)防災施設整備 常松薬師(気高地域)防犯施設整備</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢化・少子化に伴い、後継者の育成等が必須である。登録有形文化財については、登録後の活用の取り組みが課題となっている。地域と連携した事業実施のため、継続的な補助が必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数	85%	107%	117%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<p>■ 1. 妥当である</p> <p>□ 2. ほぼ妥当である</p> <p>□ 3. あまり妥当ではない</p> <p>□ 4. 妥当ではない</p>	指定文化財の保護、保存、啓発のために必要である。
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p>■ 1. 有効である</p> <p>□ 2. やや有効である</p> <p>□ 3. あまり有効でない</p> <p>□ 4. 有効でない</p>	保存団体等と連絡、調整を図り、必要事項について補助している。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<p>■ 1. 効率的である</p> <p>□ 2. やや効率的である</p> <p>□ 3. あまり効率的ではない</p> <p>□ 4. 効率的ではない</p>	文化財の維持が適切に行われ、後世まで引き継がれることが期待できる。
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<p>■ 1. 公平である</p> <p>□ 2. やや公平である</p> <p>□ 3. あまり公平ではない</p> <p>□ 4. 公平ではない</p>	各管理団体、保存団体による要望を聞き取り、次年計画の中で執行するように努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p>■ 1. 拡充</p> <p>□ 2. 改善継続</p> <p>□ 3. 現状維持</p> <p>□ 4. 縮小</p> <p>□ 5. 休止、廃止、終了</p>	<p>■ 1-1 意図的に拡充</p> <p>□ 1-2 制度的に自然増加</p> <p>□ 2-1 手段等の改善</p> <p>□ 2-2 効率化、簡素化</p> <p>□ 2-3 他事業との統合</p>	<p>□ 4-1 意図的に縮小</p> <p>□ 4-2 制度的に自然減少</p> <p>□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p>□ 5-2 意図的に廃止</p> <p>□ 5-3 制度的に終了</p>
	担当課長の評価コメント	地域・団体からの修理要望や相談も増加し、文化財を適正に管理・保存する方策を検討しなければならない。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000736	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業(鳥取城跡保存修理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	昭和32年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%	
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-06-01
					会計区分	一般会計

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事	平成24年度 風呂屋御門跡下石垣修復工事・整備に係る発掘調査	平成25年度 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	平成26年度 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	平成27年度 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	
	年度別実績	大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事	大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成・天球丸跡巻石垣前広場整備工事、記録作成・次年度以降工事にかかる発掘調査、記録作成、設計	・大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ・天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ・次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	105,734	64,701	84,308	0	250,200	
	直接経費 A	92,989	52,077	71,923	0	250,200	
	直接経費の財源内訳	国・県	61,596	34,605	47,571	0	166,800
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	31,393	17,472	24,352	0	83,400		
人件費 B	12,745	12,624	12,385	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.70	1.70	1.70	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	%	目標	80	90	95	100	0	
				実績	80	90	95	0	0	
	(指標の説明) 復元整備事業に必要な調査の進捗率									
	2	天球丸腰石垣修復工事	%	目標	5	10	50	100	0	
				実績	5	5	40	0	0	
	(指標の説明) 天球丸腰石垣修復工事の進捗率									
3	大手登城路復元整備事業	%	目標	0	0	0	10	20		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明) 大手登城路の復元整備工事を実施する。										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】NO,1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P281(教043)</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年度を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、20年度より補助事業として実施している。</p> <p>【事業の成果】 計画的に文化財としての整備を実施することにより、学術面における鳥取城の本質的価値が明らかになりつつあり、さらに地域の核としても、鳥取城跡の価値を高めることができた。 ○大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ○天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ○次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%	100%	100%		
	2	天球丸腰石垣修復工事	100%	100%	80%		
	3	大手登城路復元整備事業					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国指定史跡であり、管理団体として保存活用に努める必要がある。また、都市核として、「市民の心のよりどころ」でもあるため。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取城跡の保存活用の推進は、中心市街地の活性化に資するとともに、史跡内にある久松公園、重要文化財仁風閣等の活用にもつながる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定文化財として慎重な取り扱いが必要であり、さらに既存の固有施設との調整等が不可欠である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	無料で利用でき、文化財に関心のある市民だけでなく、市街地に残る豊かな自然環境、また都市公園として広く利用することができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>関係機関との調整を進め、保存整備基本計画に沿った事業を着実に進める。 平成30年度を目標に大手登城路の復元整備を進める。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	000737	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業(史跡鳥取城跡活用推進)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	史跡鳥取城跡保存整備事業費			予算事業コード	01-09-04-05-06-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	市民の史跡への理解を深め、利活用の推進と全国への情報発信を図る。
手段 (どうするのか)	「鳥取城フォーラム」や見学会、展覧会等を実施し、情報発信と利活用の推進に努める。 史跡全体の調査研究、利活用を推進する。復元整備のために必要な調査研究、基本設計業務を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	平成24年度 中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	平成25年度 中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	平成26年度 大手登城路復元整備・鳥取城フォーラム、見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	平成27年度 大手登城路復元整備・鳥取城フォーラム、見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	
	年度別実績	鳥取城フォーラムの開催・見学会の実施・見学路の実験的整備・調査研究事業の実施	鳥取城フォーラム・見学会の実施・見学路の整備・調査研究事業の実施	中ノ御門跡復元整備基本設計・鳥取城フォーラム、見学会の実施・調査研究事業の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,498	7,809	34,982	22,542	5,000	
	直接経費 A	1,749	1,868	24,054	22,542	5,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	715	531	7,505	924	1,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,034	1,337	16,549	21,618	4,000
人件費 B	3,749	5,941	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.80	1.50	1.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	鳥取城フォーラム等イベント実施数	単位	回	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			実績	5	3	3	2	2	2			
	(指標の説明) 活用事業の実施数											
	2	事業参加者数	単位	人	区分	目標	700	1000	500	600	700	
			実績	700	700	1200	1500	0	0			
	(指標の説明) 事業実施による史跡利用者数(イベント参加者+事業期間中の見学者)											
3	中ノ御門跡基本設計の進捗率	単位	%	区分	目標	40	50	80	100	0		
		実績	40	40	50	70	0	0				
(指標の説明) 復元整備に必要な調査と設計												

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】NO,1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P281(教044)</p> <p>【事業の概要】 平成17年度に「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」、18年度に「鳥取城跡保存整備実施計画」を策定し、長期計画に基づく史跡鳥取城跡の保存整備の促進と史跡の活用を図っている。 鳥取城跡の史跡としての保存と活用を推進し、地域の核となる文化財としての価値を高める。これにより、地域文化の振興や周辺地域の活性化、文化財愛護意識の醸成を図ることを目的とする。</p> <p>【事業の成果】 ○検討委員会の開催 ○鳥取城フォーラムの開催 ○発掘調査の現地説明会の開催 ○石垣修復工事の現地説明会の開催 ○史跡の現地説明会の開催 ○鳥取32万石お城祭りでの展示の開催</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取城跡の修理・整備工事の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。平成30年度を目途に、保存整備基本計画の見直しを行い、事業を精査する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取城フォーラム等イベント実施数	167%	100%	250%		
	2	事業参加者数	100%	100%	300%		
	3	中ノ御門跡基本設計の進捗率	100%	100%	88%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	管理団体として鳥取市が積極的に保存・活用に当たる必要があり、また市民の期待も強い。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取城フォーラム、現地説明会等は常に一定以上の参加者を得ているが、より広範な市民、国民に情報発信するため、観光事業者や県等の関係機関との協調を一層図る必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	観光協会等との協力関係により、効率的に事業実施ができていますが、さらなる広範な協力が必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	城郭遺跡として各種書籍に掲載頻度も著しく向上し、観光客も増加傾向にあるが、今後さらなる事業の進捗が求められる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	復元整備事業の進捗にあわせ、内容・手法等を見直しつつ継続的に取り組んでいく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000748	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業(青谷上寺地遺跡)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在、約14万5,553㎡の広さがあり、範囲内には市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有化を進めている。また、平成22年3月には県と共同で「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」を策定し、将来的な復元建物等の整備を構想しているが、それまでの間は、環境保持と情報発信を進める。
手段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地についてはそれぞれが除草・水路管理等を実施するものとし、史跡青谷上寺地遺跡等の情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動を行い、全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指すものとする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 史跡地内の維持管理	平成24年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成25年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成26年度 史跡地内の維持管理	平成27年度 史跡地内の維持管理	
	年度別実績	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,293	4,180	6,124	0	12,312	
	直接経費 A	1,294	1,210	3,210	0	12,312	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,294	1,210	3,210	0	12,312	
人件費 B	2,999	2,970	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	4	4	4	4	4	
			実績	3	4	4	0	0		
	(指標の説明) 史跡内の草刈等の環境整備実施回数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO,1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P280 教047</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土した弥生時代の貴重な遺跡であり、平成20年3月に国史跡に指定された。また、平成22年8月、23年9月、25年10月に追加指定を受けた。 遺跡範囲内の公有化により青谷上寺地遺跡公園とし、遺跡保護と景観の管理を行う。また、史跡の保存活用事業の推進のため、鳥取県・鳥取市・関係団体等で組織する「青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会」により、地域及び青谷上寺地遺跡展示館等と連携して遺跡を活用した取り組みを行う。</p> <p>【事業の成果】 青谷上寺地遺跡公園及び道路、水路周辺などの除草作業を実施し、周辺の水田・住宅等に影響を及ぼさないよう、遺跡の保護と景観の保全管理を行った。 また、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で、古代米栽培体験・田んぼアートを行いキャラクター募集等の発信事業を行った。 採れた古代米を活用し、モチ等の配布や市内小学校への古代米ごはん提供を行ったり鳥根県からもキャラクター応募があるなど、広く青谷上寺地遺跡を発信し、青谷上寺地遺跡展示館の入館者も、前年度より729人増となった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 当面は現状の環境整備・維持管理に努め、史跡の整備・保存・活用の実施設計に向けて検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	75%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国史跡青谷上寺地遺跡の保存・保護のための維持管理及び青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会による地域活性化事業を行った。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	史跡内の市有地についての除草作業を5月、7月、9月及び3月の4回行い、周辺民家や田んぼへの悪影響を防止することができた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	除草等作業を地元業者に委託して、効果的かつ効率的な維持管理を行うことができた。また、協議会事務局は県と共同して運営しており、県内外への発信が図れた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	史跡内の市有地については、主にイベント広場・体験広場として活用できる史跡整備が構想されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	将来的には史跡青谷上寺地遺跡の史跡公園化を目指し、鳥取県と共同して史跡地内の環境保持と公有化を進めるとともに、青谷上寺地遺跡の知名度アップを目指し、青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で古代米栽培や田んぼアート等を実施している。これらの活動は、年々充実してきている。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000751	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業(美歎水源地)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成19年度 ~ 平成30年度
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美歎水源地保存整備事業費		予算事業コード	01-09-04-05-25-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美歎水源地水道施設
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	建造物の保存修理と環境整備を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	平成24年度 調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	平成25年度 修理工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置 委員会の実施	平成26年度 修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	平成27年度 修理工事 環境整備工事 特別公開の実施	
	年度別実績	調査工事(建造物、地盤、橋梁) 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	修理工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置 委員会の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	17,187	25,633	17,964	0	46,742	
	直接経費 A	11,939	20,435	12,864	0	46,742	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,406	12,556	7,473	0	31,161
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,533	7,879	5,391	0	15,581	
人件費 B	5,248	5,198	5,100	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		美歎水源地の建造物修理工事の進捗率	%	目標	0	0	20	50	70	
			実績	0	0	20	0	0		
	(指標の説明) 建造物の保存修理の進捗率									
	2	特別公開・見学会等の参加人数	人	目標	0	0	150	200	250	
				実績	0	0	150	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】NO,1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P281(教049)</p> <p>【事業の概要】 旧美敷水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美敷水源地水道施設保存整備基本計画」を策定、この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。この事業の実施により、旧美敷水源地水道施設を市民の誇りとなる遺産として、将来にわたって伝えていく。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度は (1) 国庫補助事業により、建造物保存修復工事を実施(平成25年度より29年度まで実施) (2) 利活用事業として特別公開を実施 (3) 市民と専門家からなる保存整備検討委員会及び建造物保存修復検討部会を開催 (4) 「全国近代化遺産活用連絡協議会」への参加 (5) 10月の「全国近代化遺産一斉公開」に合わせた特別公開事業の実施と、歴史博物館等による見学会の実施を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年度に文化庁の指導により「基本計画」を具体化する「保存活用計画」を策定した。この計画に沿って、平成29年度完了を目途に円滑な事業の進捗を図る。指定直後に比べ、特別公開の参加者が減少傾向にあるため、整備工事完成後を見据えた利活用の活性化を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率			100%		
	2	特別公開・見学会等の参加人数			100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国指定の重要文化財であり、所有者として市が主体的に整備・保存し、市民の活用に供する必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	システム全体が残る水道施設として全国的にも貴重な文化財だが、経年劣化が見られ、活用のためには保存修理の実施が不可欠である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他に類を見ない文化財建造物の修理事業であり、文化庁・国内の専門家の協力のもと、効率的に事業は進んでいる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全国的に価値のある文化財として、整備・活用の効果は広範囲にわたる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	保存整備基本計画(平成21年度策定)に基づき、着実に事業を推進する。平成22年度から平成24年度に調査工事、平成25年度以降に修理工事を実施し、平成30年度の公開を目指す。また、平成26年度以降は、保存活用計画(平成25年度策定)に基づいた整備も併せて行っていく。整備中の特別公開を通じて、平成30年度以降の公開活用の機運を醸成していくとともに、周辺の文化財・文化施設との連携を進める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000743	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(文化財調査)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	文化財調査費			予算事業コード	01-09-04-05-11-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内に試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	試掘調査の実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	36,127	41,498	30,497	0	25,090	
	直接経費 A	24,881	30,359	19,569	0	25,090	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,322	11,962	8,684	0	14,090
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	16,559	18,397	10,885	0	11,000	
人件費 B	11,246	11,139	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18	18	18	18	18	
			実績	20	18	24	0	0		
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数									
	2	開発事業との協議件数	件	目標	100	100	100	150	100	
				実績	240	163	245	0	0	
(指標の説明) 開発事業との協議件数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO, 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P279(教046)、12月補正・P53(教013)</p> <p>【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。</p> <p>【事業の成果】 各種開発事業との調整を図るために試掘調査を24件実施した。 (調査箇所) 岩吉遺跡 169.13㎡ 宅地造成 青谷横木遺跡 204.5㎡ 鳥取西道路 鳥取城関連遺跡 54.0㎡ 県立鳥取西高等学校改築 大井所在遺跡 20.0㎡ 携帯電話基地局新設 ほか 計 24件 1016.79㎡</p> <p>【今後の課題・方向性】 近年、高速道路などの大型公共事業のほか民間開発に伴う問い合わせ件数も増加傾向にあり、公共工事だけでなく民間開発にも対応できるように体制を強化する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	試掘調査を実施した遺跡数	111%	100%	133%		
	2	開発事業との協議件数	240%	240%	245%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる事業を把握する必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる事業に対して、試掘調査を実施し、調整を図る。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	開発事業に応じて適切な試掘調査箇所数及び遺構面等の確認を行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業はもとより、遺跡の範囲を確認するための調査については行政が負担している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については、今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	000744	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財体験・活用推進事業(出土品保存修理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	出土品保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-11-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	発掘調査で出土した遺物
意図 (どのような状態にするために)	出土品が滅失しないように維持管理する。
手段 (どうするのか)	劣化の進行度合いにより出土品の優先順位を決め、順次保存処理を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	出土品の保存処理 2件	出土品の保存処理 1件	出土品の保存処理 3件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,879	1,953	1,963	0	500	
	直接経費 A	1,380	468	506	0	500	
	直接経費の財源内訳	国・県	920	312	336	0	333
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	460	156	170	0	167
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		出土遺物を保存処理した件数	件	目標	2	1	3	1	1
	実績	2	1	3	0	0			
2		指標名		目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	(指標の説明)							
3		指標名		目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	(指標の説明)							

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO, 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 発掘調査後から劣化していく出土品の保存処理を行うことにより、遺物の適切な管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 里仁36号墳から出土した銅鏡・鉄刀・ヤリガンナの保存処理を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 発掘調査で出土した鉄製品や木製品は環境の変化により急速に劣化が進行していくので、劣化の進行具合を見極めたうえで順次保存処理を実施していく。また処理後の遺物については展覧会を開催し、市民に成果を還元していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出土遺物を保存処理した件数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	出土遺物を適切に保管・管理している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	出土遺物が劣化していかないように保存処理が行われている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	保存処理が計画的に行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	出土遺物は国民の共有財産であり、適切に保管・管理していくためには今後も継続的に実施する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も計画的に保存処理を実施し、出土遺物の適切な管理・保管に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000752	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業(埋蔵文化財体験・活用)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業			予算事業コード	01-09-04-05-30-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開する場を設ける。
手段 (どうするのか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成24年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成25年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成26年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成27年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	
	年度別実績	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳公開、バスツアーの開催) ・小学校への出前授業(市内30校) ・レプリカの作製	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、栃本廃寺跡 太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内34校)	・出土品の展示会(やまびこ館 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、栃本廃寺跡、太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内31校)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,187	3,954	4,137	0	2,000	
	直接経費 A	1,938	1,726	1,951	0	2,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,387	1,143	1,409	0	1,500
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	551	583	542	0	500
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	発掘展の入場者数	人	目標	0	0	500	1000	1000
		(指標の説明) 発掘展の入場者数		実績	0	0	2500	0	0
	2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	0	0	100	130	160
		(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数		実績	0	0	300	0	0
	3	出前授業実施率	%	目標	0	0	68	72	80
		(指標の説明) 出前授業実施率		実績	0	0	70	0	0

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO, 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に地域の歴史を知ってもらい、文化財保護の啓発を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への出前授業を実施した。(市内44校中31校) ・埋蔵文化財展を鳥取県と共催で行った(2500名) ・倭文6号墳の鉄製品の調査を鳥取大学に委託し、学術的な価値を検討した。 ・湯山6号墳から出土した眉庇付冑の保管ケースの作製を行い、資料の適切な保管を行った。 <p>【今後の課題・方向性】 小学校への出前授業では、実施校の満足度高く、次年度以降も希望する学校はほぼ100%である。今後は授業内容に変化を持たせ未実施の学校へも働きかけをし、最終的には全学校で実施できるようにする。展示会は博物館だけではなく、公民館や図書館等の施設で開催し、より積極的に市民へ調査成果等を還元できるようにする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	発掘展の入場者数			500%		
	2	遺跡見学会の参加者数			300%		
	3	出前授業実施率			103%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	埋蔵文化財の調査成果を公表・活用することによって市民の文化財への関心や保護の意識を高めることができる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	埋蔵文化財を有効に活用することができており、今後は内容を拡充していく必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他の団体と連携を図り、文化財の公開活用が行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の募集案内やイベントの広報など公平性に努めた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>整備した史跡等の活用や出土遺物を広く市民に見ていただく機会を創出し、より文化財に親しみを持っていただけるように事業を拡充させていく必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000739	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(仁風閣・宝扇庵)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	昭和51年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	仁風閣及び宝扇庵の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	仁風閣・宝扇庵管理費		予算事業コード	01-09-04-05-07-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	仁風閣・宝扇庵
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	26,693	29,375	26,741	0	27,000	
	直接経費 A	24,444	27,147	24,555	0	27,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	580	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	146	0	0
一般財源		24,444	27,147	23,829	0	27,000	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	31700	32750	31000	31000	31000					
2	2	(指標の説明)	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	%	目標	0	0	50	55	60		
		実績	34143			34755	29239	0	0			
3	3	(指標の説明)	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0			0	0	0	0			

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367
	【9次総の施策体系】 NO,1202
	【予算計上の経過】 当初予算・P279(教045)
	【事業の概要】 重要文化財仁風閣、宝扇庵及び宝隆院庭園の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、仁風閣を通じて文化財愛護思想の啓発を図るため、財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。(指定期間23年度～27年度)
	【事業の成果】 適正かつ円滑な管理運営を実施できた。 (主な事業) 山本玄匠展示会、企画展「池田正晰 因伯昔話挿話展」、企画展「甦る鳥取城」 仁風閣サロンコンサート、「写真家 池本喜巳氏 写真教室」 また、消防設備の改修工事設計を行った(工事は26年度に繰越) (入館者数) 23年度34,143人 24年度34,755人 25年度29,239人
【今後の課題・方向性】 本事業を継続して実施し、重要文化財の保護及び活用に努める。 25年度は夏場の悪天候の影響により、7～9月の入館者数が減少した。入館者増加対策として、仁風閣が鳥取城跡の史跡内に立地する利点を活かし、鳥取城跡の巻き石垣等と合わせて情報発信を行い、魅力アップにつなげる。 なお、外壁塗装の剥離及び屋根周りの劣化が進行しており、近いうちに大規模な修理を要する状況であるため、鳥取城跡と合わせて総合的な再整備の検討を行うものとする。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	108%	106%	94%		
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			110%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	重要文化財仁風閣の適切な保護・維持管理はもとより、文化財愛護精神の高揚に努めた。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	指定管理者に管理委託することにより、日常の維持管理及び公開が円滑に実施できた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定管理者により効率的な管理運営が図られた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	重要文化財である仁風閣と宝扇庵及び宝隆院庭園を常時公開している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、重要文化財等の適正な管理と活用に努める。また、各種展示・体験活動等を実施し、利用者のサービス向上に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000754	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成13年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の設置及び管理に関する条例・鳥取市あおや郷土館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費等			予算事業コード	01-09-04-05-32-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	38,081	39,137	36,174	0	34,353	
	直接経費 A	35,832	36,909	33,988	0	34,353	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,383	5,960	4,377	0	4,710
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	10	19	24	0	0
		一般財源	31,439	30,930	29,587	0	29,643
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	目標	11000	10000	7500	7750	8000
		(指標の説明) 利用者数		実績	7886	7864	8427	0	0
	2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	9000	8000	8400	8800
		(指標の説明) 利用者数		実績	6825	9761	6899	0	0
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	0	0	53	0	0

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO, 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P 281 (教050)</p> <p>【事業の成果】 青谷上寺地遺跡の貴重な出土遺物等を展示する鳥取市青谷上寺地遺跡展示館と、郷土の歴史・民俗・美術などに関する資料等を収蔵展示する鳥取市あおや郷土館は、公益財団法人鳥取市文化財団が指定管理者であり(指定期間23年度～27年度)、常設展示、企画展示及び体験学習等を通じて、文化財の愛護思想の啓発育成を図っている。</p> <p>【事業の成果】 施設の円滑な管理運営に努め、貴重な文化財の保護意識の高揚及び市民文化の向上を図った。社会科見学で青谷を訪れる小学校が増え、2つの施設及びあおや和紙工房の見学が必須となっている。また、3館でスタンプラリーを実施するなど、連携を強化している。</p> <table border="1"> <tr> <td>入館者数</td> <td>鳥取市青谷上寺地遺跡展示館</td> <td>鳥取市あおや郷土館</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>7,886人</td> <td>6,825人</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>7,698人</td> <td>9,631人</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>8,427人</td> <td>6,899人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市西エリアへの山陰海岸ジオパークの拡大に伴い、鳥取市あおや郷土館がその拠点施設としてジオパーク関連情報や青谷地域情報等を発信できるよう、鳥取砂丘・ジオパーク推進課と連携していくとともに、指定管理者による管理運営を継続し、より魅力ある企画展示や体験学習等の機会を提供して入館者数の増加に努める。また、市西エリアのみの展示ではなく、市全域を対象とするような展示施設とすることも検討していく。</p>	入館者数	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	鳥取市あおや郷土館	23年度	7,886人	6,825人	24年度	7,698人	9,631人	25年度	8,427人	6,899人
	入館者数	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館	鳥取市あおや郷土館										
23年度	7,886人	6,825人											
24年度	7,698人	9,631人											
25年度	8,427人	6,899人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	72%	79%	112%		
	2	あおや郷土館の利用者数	85%	85%	86%		
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合			106%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	国史跡青谷上寺地遺跡の情報発信の場、郷土の歴史や文化・芸術にふれる場としての目的に合致した管理を行っている。
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	指定管理者の能力を活用し、日常の維持管理のほか企画展示や体験学習等を行った。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	指定管理者が管理を行うことで、効率的な施設管理が行われている。
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	両施設は原則として入館無料であり、各種展覧会やイベント等を実施して、市民文化の向上等に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 1. 拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 改善継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了</p>	<p><input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加</p> <p><input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化</p> <p><input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合</p>	<p><input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少</p> <p><input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>指定管理者のノウハウを活用した管理を継続して入館者数の増加を図り、各種展示・イベント等を通じて、史跡等の保護意識醸成や市民文化の向上等に努める。また、山陰海岸ジオパークが本市西側までエリア拡大されたことに伴い、あおや郷土館を西側エリアの拠点施設として再整備するとともに、ジオパークの案内ができる体制の構築が必要であり、鳥取砂丘・ジオパーク推進課と連携していくものとする。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	000756	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%	
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			会計区分	一般会計
予算	予算事業コード	01-09-04-05-34-01			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	149,855	162,415	155,406	0	145,505	
	直接経費 A	147,606	160,187	153,220	0	145,505	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	49	49	59	0	50
		一般財源	147,557	160,138	153,161	0	145,455
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	27000	28000	26000	27000	28000
	(指標の説明) 利用者数		実績	38042	22614	44045	0	0	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	0	0	54	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO, 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P 282 (教051)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発育成を図るため、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。</p> <p>【事業の成果】 (主な事業) 「吉田璋也のデザイン ヘルシンキ・パリ凱旋展」 「錦絵 時代を映したアートとメディア～色彩(いろど)る/喧伝(つたえ)る～」 「郷愁と情熱の画人 中島菜刀」 ・25年度は鳥取市歴史博物館の開館以来、最高となる入館者数を記録した。その要因は、施設貸館事業として「なばたとしたか絵本原画展～ナバーランドへようこそ～」が27日間開催され、期間中入館者が21,165人あったことによるものである。 ・鳥取市文化財団の事務所を中心市街地に移転することに対する家賃補助を行う。</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業を継続して実施し、鳥取市の歴史の調査研究及び市民への郷土愛護精神の高揚に努める。合併町村の文化財関連情報を展示に反映できるよう、今後、展示内容の一部変更を検討する必要がある。 市民等の関心を引き付ける企画展示が入館者増につながるようになるので、今後も企画展示の充実に努めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市歴史博物館の利用者数	141%	81%	169%		
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			108%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取の歴史・文化を系統的に学習できる施設として設置している。設置目的に沿った調査研究活動・展示事業・各種講座を実施した。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	指定管理者の能力を活用し、日常の維持管理及び各種展示・講座等を開催し、郷土の文化財に触れる機会を設けた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定管理者を指定し、効率的な運営が図られた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各種展示・講座・イベント等を実施し、市民の文化向上及び福祉の増進に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、文化財保護意識の高揚、市民の文化向上及び福祉の増進に努める。また常設展示の内容等について検討協議し、展示内容の整備を図るとともに入館者の増加に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000757	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成 6年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費		予算事業コード	01-09-04-05-35-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	53,406	57,523	55,083	0	45,552	
	直接経費 A	49,657	53,810	51,440	0	45,552	
	直接経費の財源内訳	国・県	506	329	273	0	212
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,344	24	21	0	0
		一般財源	47,807	53,457	51,146	0	45,340
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	20100	20500	21000	22000	23000
			実績	21156	28668	22019	0	0	
		(指標の説明) 利用者数							
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
				実績	0	0	58	0	0
	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 NO, 1202</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P 282 (教052)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市因幡万葉歴史館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発を図るため、公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定している。また併せて、隣接する国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を委託している。</p> <p>【事業の成果】 清末忠人剥製コレクション展「ザ・鳥」 野田ふさえ生誕100年記念「初秋の風」 「漫画家 安彦良和～古代因幡へのまなざし～」 ・国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理 ・因幡万葉企画事業 ・空調設備改修 観光施設としての一面として、毎年、「因幡の傘踊りの祭典」「万葉集朗唱の会」等を開催しており、県外からの来館経験者者が「因幡の傘踊りの祭典」に参加するなど、交流も進んでいる。また、万葉衣装の試着コーナーが好評であり、来館者数増加に一役買っている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成6年の当初開館から20年が経過しているため、空調設備や展示サイン等が老朽化しており、計画的な改修等が必要である。 また、今後の施設のあり方等についても十分な検討等が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	105%	140%	105%		
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			116%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	万葉文化をコンセプトに地域文化と観光振興を図るとともに、各種展示事業・体験活動を実施した。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	指定管理者の能力を活用し、日常の維持管理及び各種展示・イベント等を開催し、伝統文化の継承と観光振興に努めた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	指定管理者を指定することにより、効率的な運営が図られた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各種展示・講座・体験活動等を実施し、市民文化の向上及び福祉の増進に努めた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	指定管理者のノウハウを活用した管理を継続し、市民の文化意識の高揚、福祉の増進に努める。また、常設展示等のあり方を検討協議し、内容の整備及び入館者の増加に努める必要がある。	